

寄付金付き切手の生みの親 土井英一 ～土井晩翠の長男がエスペラントを学んで夢見た理想とは～

後藤 斉

第63回東北エスペラント大会 公開講演会
2024-10-19
仙台市青葉区 仙台市戦災復興記念館

1

概要

詩人土井晩翠の長男英一(1909～1933)は東北帝国大学法文学部在学中に結核のため没、満では24年にも満たない短い生涯だった。しかし、病の中で国際語エスペラントなどの語学力を駆使して行った多岐にわたる活動は、多くの人を動かした。なかには、寄付金付き切手という新しい制度を国に導入させるほどの熱のこもったものもあった。

→ 国際交流におけるエスペラントの意義を例証

2

まえおき

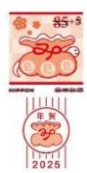
寄付金付き切手 郵便料金に寄付金を足した額で販売

最近では東日本大震災(2011)や東京オリ・パラ(2019)、関西万博(2024)などで発行

2025(令和7)年寄付金付き年賀はがき

全国版

宮城県版



3

目次

- 1. はじめに
- 2. 土井英一と晩翠、家族
- 3. 国際語エスペラント
- 4. 土井英一の活動・遺したもの
 - 4. 1 生い立ちとエスペラント
 - 4. 2 寄付金付き切手
 - 4. 3 その他
- 5. まとめ

4

1. はじめに

後藤 斉 ごとう ひとし

東北エスペラント連盟会長・仙台エスペラント会会長

1991-2021年 東北大学文学部・大学院文学研究科(言語学)助教授・教授。2021年3月、同定年退職。4月、名誉教授に。

専門分野は言語学、特にロマンス語学、日本語コーパス言語学および語彙の分析、言語学史、エスペラント学など。

『エスペラント日本語辞典』(日本エスペラント学会, 2006) 編集副主幹

『日本エスペラント運動人名事典』(ひつじ書房, 2013) 柴田巖と共編

5

2. 土井英一と晩翠、家族

土井英一 (どい・えいいち)

本来は「つちい」

1909.9.17～1933.9.9

片平丁小学校、(旧制)仙台一中、

(旧制)第二高等学校をへて

1929(昭和4)年に東北帝大法文学部入学、

病気療養のため休学し、在学中に没



6

2. 土井英一と晩翠、家族

父 土井晩翠 (どい・ばんすい)

本名林吉 本来は「つちい」

1871(明治4)～1952(昭和27)

(旧制)第二高等学校教授

英文学者・詩人 「荒城の月」で知られる

1949(昭和24) 仙台市名誉市民

1950(昭和25) 文化勲章

晩翠草堂: 戦災で住居と蔵書を失った晩翠のために、教え子など市民有志らが1949(昭和24)年に建設。

晩翠通: 1983(昭和58)年命名



7

2. 土井英一と晩翠、家族

母 土井八枝 (どい・やえ) (1879～1948)

高知県出身。東京音楽学校在学中に晩翠と結婚

・『仙台方言集』私家版, 1919

・『土佐の方言』春陽堂, 1935

柳田国男「序」(11ページ)

・『仙台の方言』春陽堂, 1938

・『随筆 薔柑子』長崎書店, 1940.

英一の没後、夫妻で仙台エスペラント会を支援して、賛助会員に



8

2. 土井英一と晩翠、家族

二人の姉

長姉 照子 (1906～1932)

宮城女学校卒業後、音楽専攻科に進むも、病床に

次姉 信子 (1907～1940)

英文学者中野好夫(のち東大教授、評論家)と結

婚、二男一女をもうけ、次男を晩翠の養子に

(英一 1909～1933)

9

2. 土井英一と晩翠、家族



10

3. 国際語エスペラント

1887年、特定の国や民族に属さない中立の国際語として、ザメンホフがエスペラント博士の筆名で『国際語』(『第一書』)をワルシャワ(ロシア帝国領)で出版して提唱。

初めはロシア語版、引き続き、ポーランド語、フランス語、ドイツ語、英語の各言語版。

40ページ + 単語集(約900語)。

「人工語」と呼ばれることも。



3. 国際語エスペラント

19世紀末～20世紀初頭 フランスを中心にヨーロッパ各地に広がる

1905 フランス、ブローニュ・シュル・メールにて第1回世界エスペラント大会、以後定例化し、2度の世界大戦の間を除き、毎年開催。

2024 第109回世界エスペラント大会 タンザニア・アルーシャ。初のアフリカ開催。

2025 第110回世界エスペラント大会 チェコ・ブルノ

12

ala Kongreso
nzanio 3-10 a

13



14



15

3. 国際語エスペラント 日本において

- 1887 ザメンホフ『第一書』
- 1888 読売新聞で紹介
- 1903 吉野作造「世界普通語エスペラント」(『新人』)
- 1905 第1回世界エスペラント大会
- 1906 二葉亭四迷『世界語』。黒板勝美ら日本エスペラント協会創立。第1回日本エスペラント大会
- 1919 日本エスペラント学会(現協会)創立
- 1965 第50回世界エスペラント大会(東京) アジア初
- 2007 第92回世界エスペラント大会(横浜)
- 2024 日韓共同開催エスペラント大会(韓国・全州)

16

3. 国際語エスペラント 日本において

- 1920 ラムステット、フィンランド公使として来日。
- 1921 エロシェンコ、日本から追放 (1914来日)。
- 1921 新渡戸稲造、第13回世界大会(プラハ)に参加し、好意的な報告書を国際連盟に提出。
- 1922 衆議院、エスペラントに関する調査請願を採択。
- 1926 日本エスペラント医学協会設立。
- 1927 鉄道省、Gvidlibreto por Japanlandoを発行。
- 1927 清見陸郎訳『寡婦マルタ』。
- 1930 黒川眸訳『悲惨のどん底』。ペレール来日。
- 1937 長谷川テル、中国に渡り抗日運動に参加。

17

エスペラントの特徴

- ・特定の国や民族、地域という背景がない。地球上に散在(ディアスポラ)
- ・話者の大部分は、ある程度長じてから自らの意思により選択して、第二言語以降として学習して習得した人である

18

エスペラントの弱点

- ・国や地域の基盤がなく、**実態が見えにくい。「人工語」としての先入観で判断し(され)がち** (知るには努力が要る)
- ・規模が大きい、「**多様性**」の**限界** (ただし、**個人で把握しきれないほど多様であることは事実**)
- ・「世界語」としての英語には太刀打ちできない (ただし、国際語の別の在り方としてなら)

19

エスペラントの強み

- ・話者の多くは**国際交流を志向して、自由意思により取り組んでいる**
- ・話者は**一般に自主性や相互協力精神、ボランティア精神に富んでいる**

コンピューターネットワークとの親和性

⇒ **ネット時代に合った新しい層／使い方**

20

エスペラントについての主要参考文献

- ・エスペラント日本語辞典編集委員会編 2017 『エスペラント日本語辞典』第二版 日本エスペラント協会.
- ・後藤斉 2018 「国際語エスペラント 一言語共同体の特性から」『日本語学』2018年5月特大号.
<https://www2.sal.tohoku.ac.jp/~gothit/nhnggk1805.html>
- ・木村護郎クリストフ・渡辺克義編 2009 『媒介言語論を学ぶ人のために』 世界思想社.
- ・木村護郎クリストフ 2021 『異言語間コミュニケーションの方法 一媒介言語をめぐる議論と実際』 大修館書店.

21

3. 国際語エスペラント 時代背景

戦間期(第一次大戦後から第二次大戦開始まで)は**世界的に平和思想が高まった**。日本では**大正デモクラシー**とも重なる。これを背景に、**世界的にも日本でもエスペラントの高揚期**を迎えた。

1919年に創設された日本エスペラント学会(現(一財)日本エスペラント協会)のほか、エスペラント運動はさまざまな形で展開され、宗教やプロレタリア運動からエスペラントに近づく人もいた。**知識人、学生だけでなく多くの一般庶民もエスペラント運動に参加した**。有名人を挙げれば、吉野作造、新村出、秋田雨雀、柳田国男、伊波普猷、比嘉春潮、宮沢賢治など。支援者に新渡戸稲造、後藤新平、安達峰一郎など。

22

4.1 土井英一の活動 生い立ち

土井英一 (どい・えいいち) 本来は「つちい」

1909(明治42)年9月17日生まれ

片平丁小学校、(旧制)仙台一中をそれぞれ一年短縮して修了。

1922年、ノーベル賞受賞決定の直後に訪日した**アインシュタイン**は東北大での講演会ののち、晩翠から詩を贈られ、帰途の船中から晩翠への礼状とともに、**英一(満13歳!)に宛てたメッセージも書き送った**(現在、東北大学附属図書館蔵)。

23

4.1 土井英一の活動 エスペラント

中学ごろからエスペラントを独習

1927(昭和2)年 同ころ、日本エスペラント学会に入会

二高エスペラント会を再興してリーダー格として活動し日本事

情を世界に知らせようと、1928(昭和3)年4月から

"Monata Raporto el Japanio"(「日本からの月刊報告」)を刊行

Monata Raporto el Japanioの創刊号 →

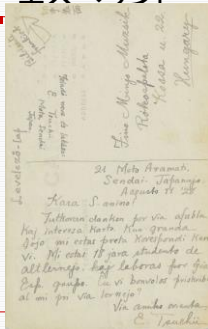
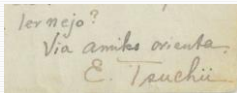


4.2 土井英一の活動 エスペラント

国際語エスペラントを通じて世界の人々と親交を結び、また、外国人に日本の認識を正しくしてもらおうと、国際文通に励んだ。

1928.08.11

ハンガリーのMuzsikさん宛て



4.2 土井英一の活動 エスペラント

背景

当時は、一般人にとって個人として外国と直接つながる手段は限定的だった。海外旅行は一般人には手の届くものではなかったし、国際ラジオ放送もまだなかった。滞日・訪日する外国人も数は限られていた。

多くの人にとって現実的な国際交流の手段は(読書と雑誌購読以外には)国際郵便による文通であった。エスペランティストの多くも海外文通に励んだ。

26

4.2 土井英一の活動

特に親しくなったのは、ドイツの

ドレスデン近くの マールバッハに住む小学校長 ヨハネス・シュレーダー (Johannes Schröder, 1885~1954)で、20歳以上の年齢差にもかかわらず、互いに「親愛なる友」と呼び合う仲になる。

シュレーダーから英一に贈られた本 (Hans Koch-München, "La Esperantisto en Germanio, Gvidlibro tra la germana lingvo", Sudgermana Esperanto-Eldonejo, 1923?) も、晩翠の旧蔵書を取めた東北大学附属図書館晩翠文庫に残されている。晩翠が英一の遺品を取っておいたものだろう。

27

4.2 土井英一の活動 寄付金付き切手

英一は、ヨーロッパの文通相手から受け取った郵便物に、変わった料金表示の切手が貼ってあることに気づいた。郵便料金額に寄付金を付加して販売される慈善切手であることを知ると、これを日本にも導入して、社会事業に役立てることを考えた。

英一が集めて、内ヶ崎に資料として託した外国の慈善切手の一部 →



28

4.2 土井英一の活動

…例へば一銭五厘切手を二銭に、同じく三銭切手を四銭に全国の郵便局から発売するもので、政府はその付加額を回収して慈善の目的に使用する。欧洲各国では既にこれを実行してあるが、一団体の義捐金募集に比べて遥に普遍的であり民衆的である。… その数多き点において列国中に比を見ざるわが痼病患者の救済問題 … この切手を貼った手紙が全国津々浦々に行きわたる時、それは全国民の公共心を刺激せずには止まないであらう。

慈善切手を呼びかける英一の投書

『東京日日新聞』(1930.10.9) →



29

4.2 土井英一の活動 寄付金付き切手

英一は世界の慈善切手に関する調査結果をレポートにまとめて、晩翠を通じて宮城県選出の代議士内ヶ崎作三郎(1876~1947、二高および東大英文科で晩翠の後輩、早稲田大学教授、のち衆議院副議長)に働きかけた。内ヶ崎は、1933(昭和8)年 3月、第64回帝国議会衆議院建議委員会に「慈善郵便切手発行二閣スル建議案」を提出した。議事録を読むと、内ヶ崎が「戒ル特殊ノ人ノ手ヲ通ジ」て調査したというヨーロッパ諸国の事情の説明は非常に詳しく、逓信省が驚くほどだった。

しかし、逓信省側は、「大変結構ナコト」としながらも、従業員の負担増や予算不足を理由に積極的ではなかった。建議が衆議院本会議で可決されたとの知らせは病床の英一を喜ばせたが、なかなか実際の発行には至らなかった。英一は、「愛国切手」と呼びかけて、その実現を家族や内ヶ崎に、文字通り死の瞬間まで訴えかけた。

30

4.2 土井英一の活動 寄付金付き切手

英一の没後、内ヶ崎は、1935(昭和10)年3月9日、目的を民間航空事業奨励という名目に切り替えて、「愛国郵便切手発行ニ関スル建議案」を第67回帝國議會に提案しなした。3月12日、内ヶ崎は委員会での趣旨説明の発言で、眞の提案者は英一であることを明かす。

「何故ニ私ハ此建議案ヲ先年衆議院ニ提案致シタト申シマスト、…土井晩翠君ノ長男英一君ガ、東京[ママ]帝國大学在学中此事ヲ考ヘラレマシテ、「エスペラント」ニ依リマシタリ、或ハ其他英独ノ文字ヲ使ヒマシテ、サウシテ歐羅巴ニ於ケル同志ト通信ヲセラレテ、サウシテ材料ヲ提供セラシ、私ノ方ニ議會ノ問題ニシテ與レナイカト云ウコトヲ熱心ニ頼マレマシタ為ニ、私ハ土井英一君ノ熱心ニ勸カサレテ提案致シタノデアリマス、然ルニ英一君ハ一昨年ノ秋病ヲ以テ死去セラレタノデゴザイマシテ、私ハ偶然病氣見舞ニ行ツツ、其數期ノ瞬間ニ会フコトガ出来タノデゴザイマシテ、私ニ對スル一種ノ遺言ノヤウニナツテ居ルノデアリマス…」。

4.2 土井英一の活動 寄付金付き切手

日本初の寄付金付き切手は1937(昭和12)年6月1日に発行された。

2銭、3銭、4銭にそれぞれ2銭の寄付金がつく3種類の愛国切手(色はそれぞれ紅色、紫色、綠色)で、図案は日本アルプスの上空を飛ぶダグラスDC-2型機。

同時に発売された愛国葉書は2銭プラス寄付金3銭。



32

4.2 土井



愛国切手発行の経緯を伝える『河北新報』記事 (1937.6.1)

33

4.2 土井



愛国切手発行の経緯を伝える『東京朝日新聞』記事 (1937.6.16)

4.2 土井英一の活動 寄付金付き切手

愛国切手に関しては、いくつかの誤解がある。一つは、愛国切手が航空愛国週間になんで発行された記念切手だというものだ。愛国切手発行に合わせて関連行事として航空愛国週間が設定されたのであって、その逆ではない。

また、愛国切手の寄付金が軍事目的であったとの記述も時として見られるが、これも根拠に欠ける。「愛国」という名称が軍事に直結しているとの先入観があるのだろう。

当時、逓信省航空局において民間航空振興に向けた動きがあった。そのため、(逓信省の管轄でない慈善事業とは違って)民間航空事業の助成を目的とした愛国切手の発行はスムーズに運んだ。

35

4.2 土井英一の活動 寄付金付き切手

発売当初には航空愛国週間など関連のキャンペーン行事も盛んに行われ、愛国切手の売れ行きは好調だった。しかし、間もなく伸び悩むようになる。直前の4月に郵便料金が改定されて、葉書がそれまでの1銭5厘から2銭に値上げされたばかりという事情があったため、さらに寄付金が付加されることには相当の割高感があったようだ。

英一は、外国での例を検討した上で、「例へば一銭五厘切手を二銭に、同じく三銭切手を四銭に…発売」と、額面の3分の1程度の寄付金を付加する構想を持っていた。2銭の愛国切手で額面と同額の2銭の寄付金が付加され、愛国葉書の場合には額面2銭の1.5倍の3銭の寄付金が付加されるというのは、どうみても高額に過ぎる。このような寄付金額の設定は、明らかに逓信省側の誤算と言うべきだ。

36

4.2 土井英一の活動 寄付金付き切手

内ヶ崎「愛国切手の誕生秘話」

この愛国切手は、英一君の初めの考へとは少しく性質の異なつたものとなつて現れた。英一君は、慈善切手と銘打つて、専ら癩者と結核の撲滅を目的としてゐたのであるが[...]**民間航空事業の貢献に資することゝなつた。**[...]英一君の理想の慈善事業にまでは、必ず私の手で、近き将来に於て**実現するやう努力したいと思つてゐる。**[...]

英一君が、世にも珍しい知と徳とを兼ね備へながら、僅か二十五歳で夭折したことは、天二物を与へずとは言ひながら、まことに遺憾極まりないことであるが、しかし**その事業は、碌々として馬齢を重ねる人に比して遙かに命永く、**[...]

37

4.3 土井英一の遺したもの

- ・ドイツへの分骨（1935年10月19日にマールバッハで埋葬式）
- ・小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）の記念碑（1935年7月1日除幕）
- ・国際友好鯉のぼりの会（1934年創立）

38

4.3 土井英一の遺したもの

新寺小路大林寺にある
英一の墓
(姉照子と合葬)



39

4.3 土井英一の遺し

ドイツへの分骨を望む遺書が発見され、仙台エスペラント会会員の助力でシュレーダーに託された。



ここにわれらの親愛なる友、ドイ・ツチ・エイイチ眠る。
1909 - 1933。

彼はドイツを死に至るまで深く愛したが、その弱い肉体は、ドイツと日本との友好のための、ひいては西洋と東洋の友好のための、大いなる事業をなすことを彼に許さなかった。彼、神のうちに休みたまえ。

40

4.3 土



近年になっても日本人の墓参がドイツで報じられることがある。
<https://www.saechische.de/plus/karpfenfahne-lockt-japaner-nach-marbach-3586931.html>
(2017年関西学院大学中村哲氏ら)

41

4.2 土井英一の遺し

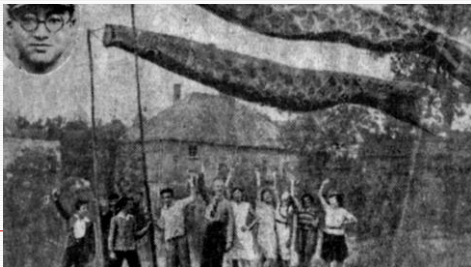
小泉八雲先生記念碑
上野の帝国図書館(現在は
国立国会図書館国際子ども
図書館)の前庭
1935年7月1日除幕



42

4.3 土井英一の遺したもの

国際友好鯉のぼりの会（1934年創立）



まとめ

詩人土井晩翠の長男英一（1909～1933）は東北帝国大学在学中に結核のため没、満では24年にも満たない短い生涯だった。しかし、病の中で国際語エスペラントなどの語学力を駆使して行った多岐にわたる活動は、多くの人を動かした。現在まで続く寄付金付き切手という新しい制度を国に導入させるほどだった。

時代は移り変わるが、エスペラントによる国際交流の意義を例証するものだ。

44